

■基本方向ごとに想定される主な取組を整理し、
それぞれの基本方向との関連性をまとめた

【凡例】 ○：想定される主な取組
★：本日議論頂きたい取組

黒字 当該基本方向の取組
着色文字 他の基本方向に関連する取組

(新規)：今回新規に取組むもの
(拡充)：現行計画の取組を拡充するもの

基本方向1 ライフスタイルに応じた住まいを選択できる環境づくり

(1) ライフスタイルに応じた住まいの充実

- 空き家の利活用による住まいの確保 (拡充)
- 高齢者の居住安定確保に向けた総合的な施策の推進 (居住支援の担い手の養成、サ高住の供給促進など)
- 居住サポート住宅の供給促進 (新規)
- 子育てに適した住まいの確保
- 公的賃貸住宅における子育て世帯への入居支援
- 若年世帯等のための住まいの確保 (新規)
(公営住宅における單身者年齢要件の緩和、
県公社における若者への家賃負担の低減など)

(2) 住まいを選択できる環境づくり

- より良い住まいの選択に向けた意識醸成 (拡充)
(住まいの選択に役立つ多様な情報の提供、地域の魅力の情報発信)
- ★ 住まいや住み替えの相談体制の充実 (拡充)

基本方向2 住宅確保要配慮者が安心して暮らせる住まいの確保

(1) 重層的な住宅セーフティネット機能の確保

- 公的賃貸住宅による居住の安定確保
- 民間賃貸住宅を活用した居住の安定確保 (空き家等の活用) (拡充)

(2) 地域の実情に応じた居住支援

- ★ 居住支援の取組の充実強化 (拡充)
(要配慮者の相談窓口、支援法人に対する支援など)

- ★ 市町村居住支援協議会の設立や継続的な活動に対する支援 (拡充)

○ 居住支援の担い手の養成

(3) 災害時における被災者の住まいの確保

- 被災者の住まいの速やかな確保
- 被災住宅の再建支援
- 災害に強い住まいまづくりの推進
- 県内の広域連携協力体制の構築の検討 (新規)

基本方向3 既存住宅の流通促進と良質なストック形成

(1) 脱炭素社会の実現に向けた住宅ストックの形成

- 省エネルギー住宅の供給促進等
- ★ 既存住宅の有効活用 (拡充)

(2) マンションの適正な管理と円滑な再生

- ★ マンションの適正な維持管理の支援 (拡充)
(管理組合及び区分所有者への支援・管理状況に応じた働きかけ)
- マンションの円滑な再生への支援

(3) 空き家対策の推進

- 空き家化の予防 (拡充)
- ★ 空き家の適切な管理 (拡充)
- ★ 空き家の利活用の促進 (拡充)

基本方向4 地域の魅力・資源を活かした豊かな住生活の推進

(1) 地域の魅力・資源の情報発信

- 地域の魅力を向上させる地域資源の掘り起こし (拡充)
- 地域の魅力・資源の情報発信 (新規)
- (2) 地域の課題解決に向けた取組促進
- 空き家率の高い地域の課題解決に向けた取組促進 (拡充)
- コミュニティの活力低下が著しい地域の課題解決に向けた取組促進 (拡充)

(3) 地域活性化プロジェクト等との連携による魅力ある住生活の推進

- ★ 地域活性化プロジェクト等との連携による魅力ある住生活の推進 (新規)

基本方向5 誰もがいきいきと暮らせる住まいまづくり

(1) 地域の魅力を活かした地域の活性化に向けた取組の充実

- 先進的な取組事例の収集・情報発信 (拡充)
- ★ 先進的な取組の県内への展開 (拡充)

(2) 多様な主体の連携による未病改善に向けた住生活の推進

- 県営住宅における健康団地の取組の推進 (拡充)
- 未病改善に向けた取組の民間住宅団地への展開 (新規)

(3) 多世代居住のまづくりの推進

- ★ 外部人材・組織を活用した地域コミュニティ再生 (新規)
- 担い手の養成・コーディネート派遣